

評価結果をふまえた次年度の取り組みについて

今年度から教育目標として掲げた「将来に展望をもち、人間性豊かで自立した学習者を育てる」を達成できるように各領域において課題をもって取り組んでいく。

具体的には、基礎学力の充実と定着、生徒がより主体的に授業に参加し、考えや意見を表現できる力の育成を授業や課外活動などの学校生活を通して図る。そのためにも、授業において更なる”アクティブラーニング”の充実や”ICT”を活用することで、誰もが容易に理解できる授業実践を目指していきたい。そのためにも、今年度まで取り組んできた文科省「高校生の基礎学力の定着に向けた学習改善のための調査研究事業」で得られた結果や成果を今後の授業に生かしていく。

また、部活動は現在多くの生徒が所属しているが、部活動の活動指針に則り、計画的で無駄の少ない効率的な活動をする中で、より大きな成果が得られるように、顧問と生徒とその保護者が協力しながら活動していく。読書については、毎日の朝読書を定着させることにより、生徒に対して読書の習慣を身につけさせ、読み解く力の向上を図っていく。

日々行っている学校活動について、学校ホームページの更新を適宜行うことで、現在の学校の教育活動を保護者のみならず、様々な方面の方々に現状を知っていただく機会を増やしていく。また、自然災害等により、通常通りの授業が行えない場合についても、学校一斉メールやHP等を使うことで、生徒の安全を確保するとともに、スムーズな学校運営につながるよう努力する。